

平成31年度公益社団法人藤沢市観光協会事業計画〔公益事業〕

1. 観光宣伝誘客・情報提供事業

〔事業費 145,019,000円〕

(1) 観光パンフレットの作成

ア. 「るるぶ藤沢」の作成

平成25年度より旅行情報誌のブランド力を活かした藤沢市の観光冊子パンフレット「るるぶ特別編集 藤沢」を発行し好評を得ている。今年度も「るるぶ特別編集 藤沢」を改訂し、更に観光客が知りたい情報を加えながら、昨年度より3万3千部多い13万5千部を発行する。オリンピック関連のページやふるさと納税のページを本誌に加え20ページから24ページとし、取外しのできる折りたたみ式大判マップ(A2判4つ折)も引き続き冊子に付録します。藤沢の魅力が詰まった冊子とし、県外観光キャラバン等での活用や神奈川県内、東京都内及び千葉県の主要宿泊施設に配置し、本市への誘客を図る。また、圏央道に直結している中央自動車道及び関越自動車道等の利便性の高いサービスエリアにあるパンフレットスタンドに配置し、マイカー利用者に情報提供する。なお、観光センター、片瀬江の島観光案内所等の市内観光案内所で来遊者にも配布し、市内観光の周遊性を高める。

発行部数 135,000部

発行時期 2019年7月

イ. 江の島イラストマップの作成

本市の観光の中心である江の島エリアのイラストマップを改訂し、トイレ、AED、Wi-Fiの設置場所をはじめ、富士山ビューポイントや写真撮影ポイントの表記などアイコンを使ってわかりやすく表示し、さらに駅から各観光施設までの距離や江の島の高低差などの情報を載せることで来島者がより快適に回遊できるように提供する。

発行部数 250,000部

発行時期 2020年2月

ウ. 外国語版江の島イラストマップの作成

日本語版江の島イラストマップの対訳版として英語・中文繁体字・中文簡体字を作成する。今年度はオリンピックに向けて利用者ニーズが多い英語を中心として、台湾香港向けの中文繁体字及び年々個人旅行客が増えている中国本土からの観光客のため中文簡体字を増刷し、観光案内所等において訪日外国人観光客に提供する。

発行部数 英語 25,000部

中国繁体字 25,000部

中国簡体字 25,000部

発行時期 2019年10月

(2) 観光誘客ポスター（初詣・寒中神輿・節分ポスター等）の作成

市内社寺への初詣、新成人を祝う寒中神輿錬成大会及び2月3日に市内社寺で開催される節分祭を盛り込んだポスターを作成し、近郊私鉄各社等を中心に掲出し誘客に努める。

発行部数 150枚（B1サイズ）

発行時期 2019年12月

(3) 国内宣伝活動

ア. 観光キャラバン事業

本市への誘客効果を図るため、地元関係団体及び観光事業者等と観光キャラバン隊を組織して、宮城県仙台市及び東北楽天球場での観光キャンペーン、そして湘南新宿ライン、上野東京ラインの鉄道並びにマイカーでは圏央道の開通により本市へのアクセスがスムーズになった北関東エリア等で観光キャンペーンを実施し、観光客誘客を図る。

時期・場所

2019年6月中旬：宮城県仙台市及び東北楽天球場を予定。

9月中旬：群馬県高崎市・前橋市及び茨城県水戸市を予定。

イ. 松本市との交流事業

さがみ縦貫道路（圏央道）により、姉妹都市松本市への行き来が飛躍的に向上し、更に江ノ島電鉄と松本市のアルピコ交通との相互交流事業が平成26年度より本格的に開始するなど、本協会も積極的に相互交流が盛んになるよう推進する。今年度も「松本市民祭」などに参加し観光PR活動を行う。

時 期 2019年11月

場 所 長野県松本市

ウ. 近隣関係機関との宣伝活動

神奈川県観光協会及び県内各市町村観光協会と合同での県外キャンペーン事業に協力し、藤沢市の最新観光情報を提供する。また、藤沢市並びに鎌倉市への広域的な観光客誘致のために、江ノ島電鉄・鎌倉市観光協会及び両市等で組織している鎌倉藤沢観光協議会メンバーの一員として観光宣伝誘客活動を行い、国内外からの更なる誘客を図る。

また、首都圏からの観光客を誘致するため、今年度は、新宿高島屋の「湘南・横浜フェア」（仮称）に出展し観光PRを図る。小田急電鉄やJR東日本等と連携して観光宣伝に努めるほか、市内宿泊施設等で構成される「藤沢・鎌倉・湘南十日会連絡会議」に参画し、情報交換等に努める。また、今年度はこれらの宣伝活動等で使用するためのグッズ等を製作し、誘客に努める。

エ. マスメディアによる宣伝活動

新聞・雑誌及びラジオ等のマスメディアを活用して、藤沢市の観光情報やイベント情報を発信し観光客の誘客を図る。特に、海のない埼玉県内で発行される埼玉新聞への定期的な広告掲載による宣伝や、地元のコミュニティーFMレディオ湘南の毎週金曜日午前7時50分からの5分間番組「湘南・藤沢 観光だより」を放送し藤沢市民並びに近隣市民等に観光情報を提供する。

時 期 年間
場 所 観光センター

(4) 海外誘客宣伝活動

ア. 海外での旅行博等への出展 (台湾・タイ王国)

海外からの観光客を誘客するため、鎌倉エリアも含めた広域的な海外へのプロモーションを地元の観光事業者等と連携して継続的に進める。台湾高雄旅行博覧会(KTF)には高雄メトロと連携している江ノ島電鉄および小田急電鉄と共同で本市ブース出展を行う。また、タイ人に人気の鎌倉大仏から江の島へのルートを周知させるため、タイ国際旅行博 TITF#26 にブース出展し、小田急電鉄等と連携しながら誘客宣伝活動を推進する。

イ. 国内での商談会・メディア招聘・SNS情報発信

海外からの個人旅行者へのプロモーション活動としてメディア、インフルエンサー等の市内の観光・体験型招聘活動や、日本旅行業協会(JATA)、小田急電鉄、神奈川県と連携した海外旅行会社との商談会等の取り組みを行う。また、アジアだけでなく欧米の観光客への認知度アップのために、欧米人観光客の多い鎌倉エリアと連携した広域ツーリズムの提案、さらに在日外国人を招聘しSNSでの情報拡散を行うことで外国人観光客の誘客を推進する。

ウ. 多言語ウェブサイト等の情報発信

2020年東京オリンピック・パラリンピック、セーリング競技開催に向け、7言語(英語・中文繁体字・中文簡体字・韓国語・フランス語・スペイン語・タイ語)の多言語観光ウェブサイト「Discover FUJISAWA」の海外への認知度アップや、多言語メニューサイト「FUJISAWA Foodies」の作業手順の効率化を上げるためにソフト自体の改良を施して店舗への普及を促進する。また本協会と観光連携等協力協定を締結した多摩大学に協力を依頼し「FUJISAWA Foodies」上の店舗件数増加の取組も並行して行う。

同時にウェブサイトの認知度やアクセス数アップのための更新・保守作業も実施する。

<http://www.discover-fujisawa.jp> (7言語観光ウェブサイト「Discover FUJISAWA」)

<http://www.facebook.com/discoverfujisawa/> (多言語観光ウェブサイト上 Facebook)

https://twitter.com/discover_fuji (多言語観光ウェブサイト上 Twitter)

https://www.youtube.com/watch?time_continue=3&v=u6VZQtZyI3o

(7言語観光 PR 動画 You tube)

<http://www.fujisawa-foodies.jp/> (8言語メニューサイト「FUJISAWA Foodies」)

エ. 観光案内所等での外国人旅行者へのおもてなし

藤沢市観光センター及び片瀬江の島観光案内所には外国人旅行者に英語で対応できる職員を配置するほか、江の島島内の江の島観光案内所等には外国語観光ボランティアガイドを毎日2人配置し、外国人観光客へのおもてなしの充実を図る。また、東京オリンピックを控え外国語観光ボランティアガイドの育成や活用を促進する。更に、多言語観光パンフレットの配架、携帯電話充電器の設置、多言語DVD映像などを活用し、外国人観光客への環境整備や利便性の向上を推進する。

オ. 近隣地域との連携した誘客活動の推進

欧米人が多数訪れている鎌倉市との連携を強化し、オリンピックに向け欧米からの観光客誘致活動を推進するなど鎌倉・江の島の双方向の観光振興を図る。また、本協会も参画している「鎌倉藤沢観光協議会」をインバウンド旅行者受け入れのための横断的な組織として機能強化し、鎌倉藤沢エリアの一体的な取り組みを基軸に新たな観光価値の創出を事業方針として、行政・交通事業者と連携して地域の誇れる観光コンテンツづくりを推進する。

(5) ふじさわ観光親善大使

本市の観光資源の魅力を広く紹介しイメージ向上を図るため、平成24年度よりふじさわ観光親善大使として藤沢市在住のタレントつるの剛士氏に委嘱している。マルチタレントとしてテレビ・ラジオ等の出演時での本市PRや、SNSによる藤沢エリアの様子や地元のイベント、本市から望む富士山情報の発信など、積極的に観光地藤沢・江の島の魅力をPRしていただいている。

今年度も、海開き、ふじさわ江の島花火大会及び湘南江の島春まつりでの将棋イベントなどの本協会主催事業にも参加をいただき、各事業に華を添えていただく。

(6) フィルムコミッション事業

藤沢市内で行われる映画・テレビ等のロケ撮影を円滑に進め、観光振興及び地域振興に寄与するフィルムコミッション事業では、各種の許認可手続き補助、撮影隊の飲食・宿泊施設の紹介、市民エキストラ手配等の業務を行い、制作会社との信頼関係を構築する。また、FCフォーラムの開催、映画・ドラマ・アニメなどの地元舞台作品を用いた様々な宣伝展開を制作会社と連携を取りながら企画し、幅広い層の観光客増加及びシティセールスによる地域経済の活性化を図る。

6月15日公開のアニメーション映画「青春ブタ野郎はゆめみる少女の夢を見ない」など湘南藤沢フィルム・コミッションが支援した映画、ドラマ、情報番組などが公開されることにより、映像を通して藤沢のイメージアップを図る。

また、作品別ロケ地マップの作成や支援作品を題材にしたデジタルスタンプラリーを開催することにより、周遊性の高い誘客事業を推進する。

(7) ホームページ等による情報提供

4月1日にリニューアルをする藤沢市観光公式サイトの本格的な運用を行い、掲出情報の管理及び新規情報の充実を図る。

また、本協会のホームページのリニューアルを行う。リニューアル後は、藤沢市観光公式サイトと共に運用し、コンテンツを整理し見やすく充実したホームページにする。更に、フェイスブック・インスタグラム等のSNSや本協会メールマガジンを活用した情報発信を行う。

時 期 年間

U R L <http://www.fujisawa-kanko.jp> (藤沢市観光公式サイト)

※平成30年度リニューアル

<http://www.fta-shonan.jp> (藤沢市観光協会公式サイト)

<http://www.facebook.com/fujisawa.kanko>

(藤沢市観光協会公式 facebook)

http://www.instagram.com/fujisawa_scene

(藤沢市観光協会公式 instagram)

(8) 「ふじさわ観光通信」の発行

藤沢市観光協会の活動内容を情報発信する会報誌「ふじさわ観光通信」を作成し、会員のみならず、観光案内所や市民センター、市内及び近隣市の鉄道各駅など多くの公共的場所にて配布し、本協会の活動と観光事業を紹介する。

発行時期 年間4回(季刊発行)

発行部数 各6,000部

(9) 観光案内所業務

ア. 藤沢市観光センターでの案内業務

観光センターの案内窓口を担当職員を配置し、日本人観光客及び外国人観光客に観光情報を提供するとともに、本市を訪れる観光客への観光情報の発信地としての機能の充実を図る。また、平成27年1月より日本政府観光局(JNTO)から、外国人観光客観光案内所としての認定を受け、海外からの観光客におもてなし対応できるグローバルな観光案内所としてサービスの向上を図る。

時 期 年間

場 所 藤沢市片瀬海岸二丁目20番13号

イ. 藤沢市片瀬江の島観光案内所での案内業務

江の島及び片瀬海岸付近を来遊する観光客の利便を図るため、担当職員を配置し宿泊・交通・施設等の観光情報を提供する。また、観光センターと同様に、日本政府観光局(JNTO)から外国人観光客観光案内所としてカテゴリー2の認定を受け、海外からの観光客におもてなし対応できるグローバルな観光案内所としてサービスの向上を図る。

時 期 年間
場 所 藤沢市片瀬海岸一丁目14番8号

ウ. 藤沢市駅前観光案内所（湘南藤沢コンシェルジュ）での案内業務

本市の玄関口である藤沢駅コンコースに位置する「湘南藤沢コンシェルジュ」内に観光案内所を設けて、JR東日本、小田急電鉄及び江ノ島電鉄等の公共交通機関で来藤する観光客の利便を図るため、交通・宿泊及び施設等の観光情報を提供する。また、増加傾向にある外国人旅行者には、英語・中国語簡体字・中国語繁体字及び韓国語の藤沢駅周辺マップ等を配布し、分かりやすく観光案内を実施する。

時 期 年間
場 所 藤沢市南藤沢1番地の1 湘南藤沢コンシェルジュ

2. 観光行事開催事業

〔事業費 56,198,000円〕

(1) 湘南江の島海の女王&海の王子コンテスト

藤沢市の観光の魅力を爽やかに、元気よく、全国に伝える海の女王3名と海の王子2名を選出するコンテストを開催する。選出された湘南江の島海の女王・海の王子は、7月1日の江の島マイアミビーチショー「海開き」にてお披露目する。また、任用期間は7月1日より1年間とし、藤沢市の観光PRに努める。

時 期 2019年5月12日（日）〈最終ステージ審査〉
場 所 藤沢商工会館（ミナパーク）

(2) 江の島大道芸フェスティバル

江ノ島電鉄主催の「Colors fest! Enoshima」の開催期間中、江の島サムエル・コッキング苑を中心に島内各所で過去の大道芸コンテストでライセンスを取得した大道芸人によるパフォーマンスやワークショップ、忍者体験など展開し、江の島島内の周遊性を高める。

時 期 2019年6月1日（土）・2日（日）
場 所 江の島サムエル・コッキング苑及び江の島島内

(3) 江の島マイアミビーチショー

7月1日の海開き、東浜と西浜では家族で楽しめる海浜イベントや納涼花火などを開催し、海水浴客の誘客を図る。また、海水浴場関係者等と共に首都圏主要ターミナル駅で本市海水浴場への街頭宣伝活動や、新聞広告及びテレビCM等において告知を行い、当エリアへの誘客に努める。

時 期 2019年6月～8月
場 所 片瀬海岸東浜・西浜、鵜沼海岸一帯
主な事業 街頭宣伝活動（小田急線沿線駅、JR浦和駅・上尾駅等を予定）
海開き（片瀬海岸東浜）
西浜イベント
東浜ステージショー
納涼花火 等

（4）龍の口竹灯籠

龍口寺境内の仁王門前より五重塔までの間に約5,000個の竹灯籠を並べ、ロウソクに灯りを点し、幻想的な夏の夜を感じることができる「龍の口竹灯籠」を地元商店会や関係団体等と連携して開催する。

また、江の島島内で実施される「江の島灯籠」と同時開催することにより観光客の回遊性を高め、夏の風物詩となるよう工夫しながら実施する。

時 期 2019年8月3日（土）・4日（日）
場 所 龍口寺境内及び周辺
実施主体 龍の口竹灯籠実行委員会

（5）ふじさわ江の島花火大会

藤沢の秋の風物詩として定着してきた「ふじさわ江の島花火大会」であるが、昨年は突然の降雨の影響により安全対策をはじめとした数々の課題が生じたため、本年はふじさわ江の島花火大会実行委員会においてこれらの課題を踏まえながら、今後の開催手法について多角的に検討を進める。

時 期 2019年10月中旬 〈調整中〉
場 所 片瀬海岸西浜
実施主体 ふじさわ江の島花火大会実行委員会
事務局（公社）藤沢市観光協会

（6）収穫観光ウォークラリー

藤沢市北部地域の観光資源である湘南野菜、花卉、果物等の地場産業を紹介し、収穫を体験するウォークラリーを実施する。今年度は長後地区で開催する。なお、市内外からの多くの参加者の集客を図るため、首都圏のファミリー向けミニコミ紙・雑誌等にイベント告知を行い、県外から観光客の集客に努める。

時 期 2019年11月23日（土・祝）〈予定〉
場 所 長後地区〈予定〉

(7) 新春藤沢江の島歴史散歩

新春に藤沢七福神をラリーポイントとし、藤沢市中心部及び南部地域の歴史・文化・自然など、藤沢の多彩な魅力を再発見するスタンプラリーを実施し、市内の周遊性を高める。

時 期 2020年1月7日(火)から1月31日(金)
場 所 市内8社寺(皇大神宮・養命寺・白旗神社・常光寺・諏訪神社・
感応院・龍口寺・江島神社)

(8) 藤沢・江の島宝探し「エノシマトレジャー」

藤沢・江の島に残る歴史や伝説をモチーフにしたゲーム感覚の宝さがしストーリーを制作し、参加者は宝の地図やヒントなどを参考に回遊し、最後のキーワードを求めゴールを目指す。キーワードを獲得できた方には観光センター等にて発見者賞を渡し、更に公式ホームページに発見者登録をすることにより、ご当地グッズ賞品等が当たるなど、子供から大人までファミリーで楽しめる企画とし、宝さがし専門のホームページ等で公開することにより、首都圏を中心とした広域からの集客を図る。

また、藤沢市内の商店街を利用すると割引や特典が受けられる等、店舗の協力をいただき、消費観光に繋げ、藤沢市南部地域だけでなく市内中北部地域の観光振興も視野に入れた広域的な事業展開を行う。

時 期 2020年2月8日(土)から3月31日(火)
場 所 江の島島内及び藤沢市内

(9) 湘南江の島春まつり

“春は海からやってくる”をテーマとして、片瀬江の島の本格的な観光シーズン幕開けの楽しいイベントや体験型の催しを地域と協力しながら実施し、家族連れを中心とした集客を図る。また、片瀬地区商店会の片瀬すばな通り商店会・片瀬竜の口商店会や、龍口寺及び江の島片瀬漁業協同組合など地域団体等と連携し、江の島・片瀬エリアの広域的なお祭りとして集客を図る。

時 期 2020年3月14日(土)・15日(日)
場 所 江の島及び片瀬海岸
主な事業 貝供養・稚貝の放流・稚児行列・パレード、貝細工体験教室、
江の島将棋頂上決戦、岩屋大声測定、太鼓ライブ、スバナ縁日、
龍口寺落語会、片瀬漁港内みなと春まつりイベント等

(10) 地域の祭り、行事への協力支援

関東三大イルミネーション、日本夜景遺産に認定された「湘南の宝石」や「湘南藤沢市民マラソン」など、江の島の年間を通じた集客イベントを更に充実させると

ともに、「藤沢宿遊行の盆」、「遊行寺薪能」などの地域の祭りや行事等が地域活性化のための恒例の催しとなるよう積極的に協力支援する。また、北部地域では地域住民が主体となり開催している「遠藤竹炭祭」、「宮原レンゲまつり」、「遠藤あじさいまつり」、「小出川彼岸花まつり」、「御所見女坂花桃まつり」等にも協力支援を行い、市内観光の周遊性を高める。

時 期 年間
場 所 藤沢市内

3. 観光資源保護・調査研究事業

[事業費 13,826,000円]

(1) 太鼓集団「ふじ」の運営

新しい観光資源の一つとして創設した太鼓集団「ふじ」は、太鼓奏者ヒダノ修一氏監修のもと藤沢市の観光振興や地域の活性化を図るとともに観光キャンペーンや市内外のイベント等に出演をするため練習を続けている。市内外のイベントへの演奏依頼に対して、積極的に各種イベントに出演し、藤沢市の観光PRに寄与できるよう育成に取り組む。

時 期 年間
場 所 藤沢市及び出演場所

(2) 観光ボランティアガイド「江の島・藤沢ガイドクラブ」との連携

本協会と協力関係にある「江の島・藤沢ガイドクラブ」により、市内全域の特徴ある自然、歴史、文化等の魅力を観光客に一味違った角度からの案内を行い、本市観光の周遊性を図り、新たな観光客の確保を推進する。

時 期 年間
場 所 藤沢市内等

(3) 外国人観光客実態調査

江の島を来訪された外国人観光客を対象としてヒアリングアンケート調査を平成27年度より実施している。調査方法は、外国語観光ボランティアガイドによる4言語（英語・中文繁体字・中文簡体字・韓国語）での江の島のイメージ、ニーズ把握、観光ルート、国別、回数、経済効果や観光地としての改善点などについて、直接対面での動向調査を年4回実施。併せて、日本人と外国人別の江の島入込調査、世界地図を使っての外国人の国別の調査を行うなど、オリンピックセーリング競技開催に向けた観光地江の島のおもてなし向上に繋げる。

時 期 年間 (年4回：8月・10月・12月・2月を予定)
場 所 江の島内

(4) 観光地づくりの研究

藤沢商工会議所や湘南産業振興財団等と連携し、市内の名産品・特産品の販売促進や新たな名産品の研究を進める。また、今後の観光地のあり方などを検討するため、神奈川県や関係機関・関係団体等と連携しながら内外の観光地の調査研究を進める。また、市内観光事業者相互間の情報交流を図るため情報交換会を実施する。

時 期 年間
場 所 藤沢市内等

(5) 江の島・相模湾観光振興事業の推進

相模湾を題材にした新たな観光資源として、今年度も東海汽船が江の島から伊豆大島・新島等への運行を実施するため、自主運行が円滑に進むよう支援する。将来的に地域の活性化につながるよう相模湾の海上交通を活用した新たなルートの開発を促進する。

時 期 2019年4月18日・19日 江の島から伊豆大島・新島
6月中下旬予定 江の島から伊豆大島
10月中下旬予定 江の島から伊豆大島
2020年2月中下旬予定 江の島から伊豆大島
場 所 藤沢市江の島

(6) 観光事業研修会

観光関係事業経営者及び従業員を対象としたおもてなし講座や先進観光地域を訪問しながら学ぶ研修会を開催し、観光サービスの質の向上を図る。今年度は1泊2日の行程で研修会を実施する。

(7) 観光地美化活動の推進

地域美化団体と連携し、観光客に対して観光地美化の啓蒙活動をすると共に地域美化活動にも参画する。地域の環境美化団体等が自主的に実施するクリーンキャンペーン等に対して助成を行う。そして「湘南海岸をきれいにする会」の構成員として、湘南地域全体の総合的な海岸美化にも取り組む。

時 期 年間
場 所 藤沢市内

4. 観光施設運営管理受託事業

[事業費 100,973,000円]

(1) 江の島岩屋の運営管理

藤沢市から平成30年度より5年間、江の島岩屋の指定管理を受託している。今年度も藤沢市江の島岩屋条例及び同条例施行規則に基づき管理運営を行うと共に、来場者の安全並びにサービス向上に努めた企画により、入場者の増加を図る。

また、地域自治体や事業者と連携し、江の島最奥部周辺地域と江の島全体への誘客を図る。

時 期 年間

場 所 藤沢市江の島二丁目202番地58

(2) 江の島花の名所等の運営管理

本市観光の中心である江の島の観光振興を更に充実させるため、藤沢市から委託を受けて、江の島島内の中津宮広場に花を中心とした植栽や清掃等の維持管理を行い、四季を通じて観光客に観て喜ばれる花の名所とする。

さらに、江の島島内に花の植栽を推進するための「江の島花と緑の島づくり運営協議会」に参画し、特色ある花による誘客に努める。

時 期 年間

場 所 藤沢市江の島 中津宮広場等

(3) 江の島龍野ヶ岡自然の森の運営管理

藤沢市から「江の島龍野ヶ岡自然の森」の維持管理業務を受託し、花の植栽、樹木の手入れや清掃作業等を行い、江の島島内の自然を楽しみながら周遊するエリアとして管理する。

また、当施設内に本協会が平成8年に設置した社団法人設立記念のモニュメント「龍恋の鐘」を観光資源として維持管理する。

時 期 年間

場 所 藤沢市江の島 龍野ヶ岡自然の森

(4) 松本館の運営管理

江の島サムエル・コッキング苑内の松本館において、本市の姉妹都市松本市の展示スペースとして映像やポスター等での観光PR活動を行い、本市と松本市の市民交流に努める。

また、毎週金曜日と第2日曜日(午前の部、午後の部の1日2回)には地元指導者による「そば打ち体験教室」を開催し、信州松本の手打ちそばの魅力を高める。

時 期 年間(毎週金曜日、第2日曜日はそば打ち体験教室)

場 所 江の島サムエル・コッキング苑内 松本館

(5) ふじさわ宿交流館の運営管理

藤沢市から平成31年度より5年間、「ふじさわ宿交流館」の指定管理を受託し、旧藤沢宿の歴史、文化等と触れ合う場を提供するとともに、地域の人や当地を訪れる人の交流の推進を図ることにより、地域の活性化と地域の賑わいづくりに努める。

毎月恒例のイベントとして宿場寄席や朝市、更には箱根駅伝写真展など地域に密着した催しや、ふじさわ宿周辺の寺社、商店街並びに地域団体等との連携による多彩なイベントを実施することにより、市内外の観光客の誘致を図る。

時 期 年間

場 所 藤沢市西富一丁目3番3号

平成31年度公益社団法人藤沢市観光協会事業計画〔収益事業〕

1. 江の島駐車場管理運営

〔事業費 26,100,000円〕

乗用車で訪れる観光客の利便と本協会の自主財源を確保するため、藤沢市より土地を賃借し、駐車場の管理運営を行う。普通車の他、国内外からの団体ツアー客を対象に、一部スペースを予約制の大型バス駐車場としても対応し、利用車両がスムーズに駐車できる管理運営を推進する。

時 期 年間
場 所 藤沢市江の島一丁目214番5の内
収容台数 普通車36台（大型バス最大10台）

2. 片瀬東浜駐車場管理業務

〔事業費 14,446,000円〕

平成27年度より藤沢市から藤沢市片瀬東浜駐車場の指定管理者として指定を受け、本年度まで管理業務を行う。藤沢市片瀬東浜駐車場条例及び同条例施行規則に基づき運営管理を行うと共に、片瀬海岸周辺を訪れる乗用車利用客の利便を図り、利用者のサービス向上に努める。

時 期 年間
場 所 藤沢市片瀬海岸一丁目11番12の内
収容台数 普通車45台

3. 松本館での飲食の提供事業

〔事業費 1,519,000円〕

江の島サムエル・コッキング苑内の松本館で土日祝日に軽食等の販売を行う。また、観光イベント開催等に併せて特別営業を実施し、来苑者にゆったりと楽しんでもらえるように努める。

時 期 毎週土・日曜日及び祝日
場 所 江の島サムエル・コッキング苑内 松本館

4. オリジナル物品販売事業

〔事業費 909,000円〕

本協会オリジナルで製作した江の島浮世絵はがき、江の島浮世絵ポスターセット、オリジナルTシャツ・バッグ及びスマホスタンド等の販売を行う。更に、新たなオリジナルグッズの開発も行う。

時 期 年間
場 所 観光センター・片瀬江の島観光案内所・ふじさわ宿交流館他